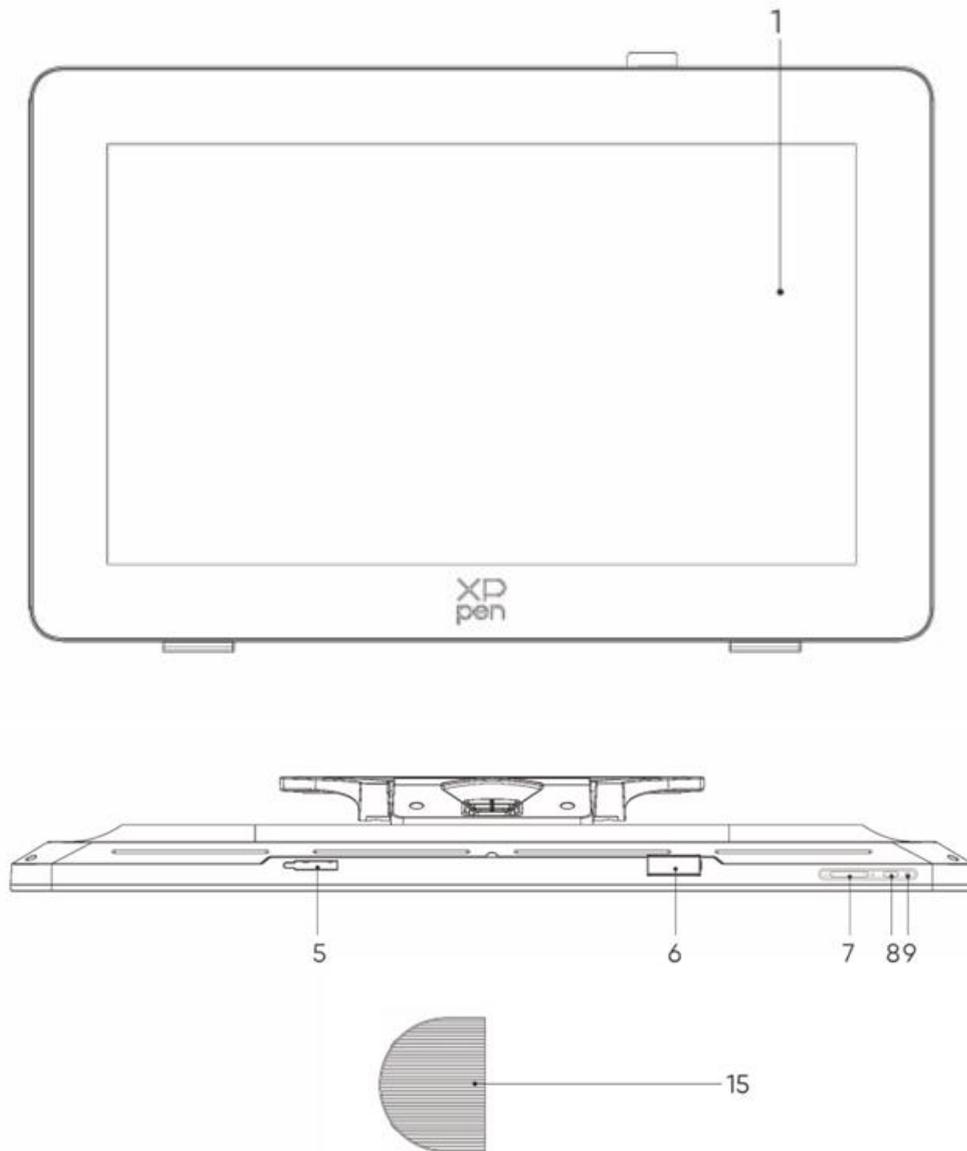


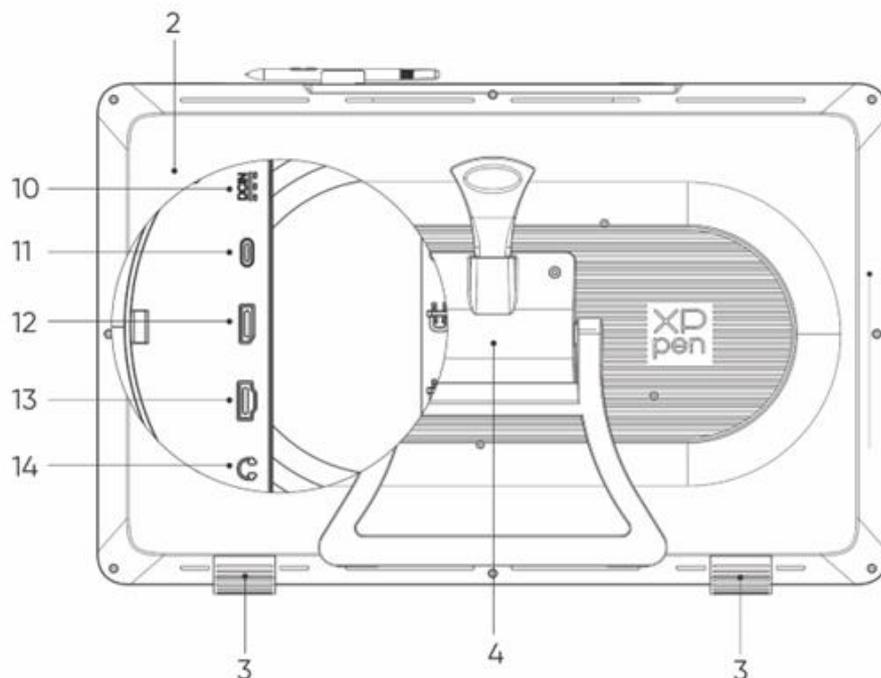
コンテンツ

紹介	2
1. 製品概要	2
2. 付属品リスト	3
3. 製品接続	4
4. Android スマホまたはタブレットの接続	5
5. ワイヤレスショートカットリモート	6
6. 互換性	7
液晶ペンタブレット	7
ショートカットリモート：	7
製品設定	8
1. ドライバのダウンロード	8
2. ドライバのインストール	8
Windows	8
macOS	8
Linux	9
3. ドライバの機能設定	10
液晶ペンタブレット	10
ワイヤレスショートカットリモート	22
4. ドライバのアンインストール	27
よくある質問	27

紹介

1. 製品概要





1. ディスプレイ/作業エリア
2. バックカバー
3. 滑り止めのゴム足
4. 調整可能なスタンド
5. ペンクリップ収納部
6. ペンクリップ
7. 輝度 +/- ボタン（信号源切替）
 - a. 画面エリアの輝度の調整：輝度+ボタンを押して輝度調整メニューを表示し、輝度+ボタンを押したままにして輝度を上げ、輝度-ボタンを押したままにして輝度を下げます
 - b. 信号源の切り替え：輝度-ボタンを押して信号源メニューを表示し、輝度 +/- を押して信号源を選択し、電源ボタンを押して信号源を確認します
8. 電源ボタン
9. インジケータランプ
 - a. ブルー：電源と信号に接続されました
 - b. オレンジ：スタンバイモード
10. 電源ジャック
11. フル機能の USB-C ポート
12. DisplayPort ポート
13. HDMI ポート
14. 3.5mm 音声出力
15. ケーブルカバー

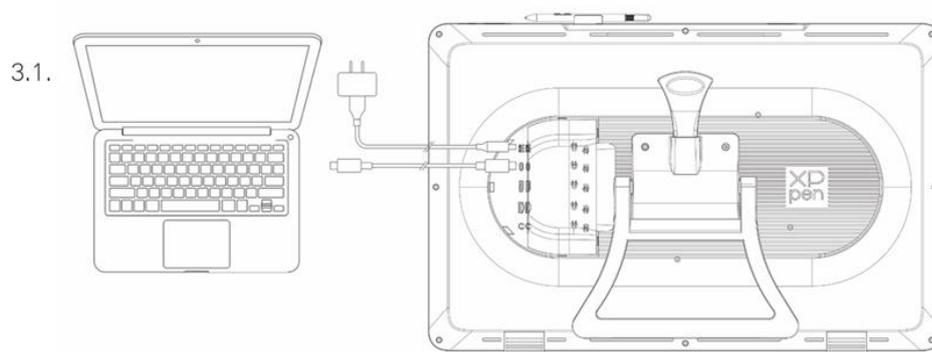
2. 付属品リスト

- X3 Pro スマートチップスタイラス

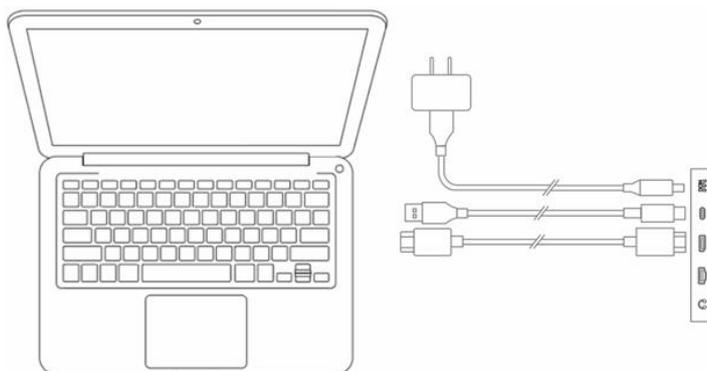
- X3 Pro スリムスタイラス
- X3 Pro スリムスタイラス替え芯 *10
- X3 Pro スマートチップスタイラス標準替え芯*10
- 替え芯付きペンケース（X3 Pro スリムスタイラス替え芯*4、X3 Pro スタイラスフェルト替え芯*4）
- ワイヤレスショートカットリモートとワイヤレスレシーバー
- 電源アダプタと電源コード
- DisplayPort ケーブル
- HDMI ケーブル
- USB-C to USB-C ケーブル
- USB-C to USB-A ケーブル
- グローブ
- クリーニングクロス
- ペンクリップ
- ペンケース
- S02 スタンド

3. 製品接続

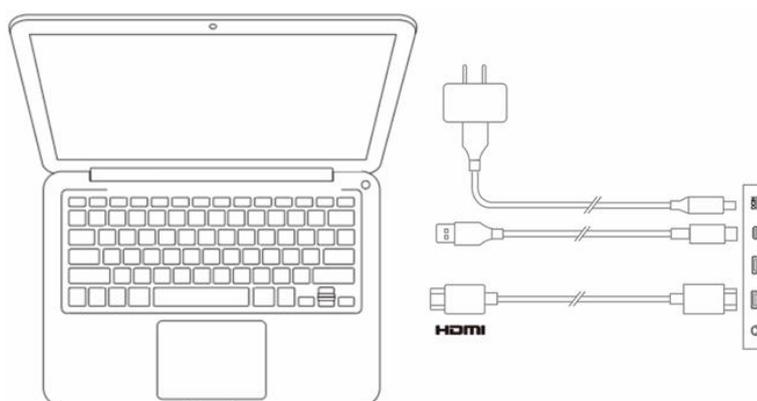
1. Artist Pro を裏返して、清潔で平らな場所に慎重に置きます。
2. 電源ケーブルとアダプターを使用して、デバイスを電源に接続します
3. コンピュータとデバイスの接続に使用できるポートを確認します：
 - USB-C**：USB-C to USB-C ケーブルを使用してコンピュータとデバイスを接続します
 - DisplayPort**：DisplayPort ケーブルと USB-C to USB-A ケーブルを使用して、コンピュータとデバイスを接続します
 - HDMI**：HDMI ケーブルと USB-C to USB-A ケーブルを使用して、コンピュータとデバイスを接続します
 デバイスを正常に動作させるには、ビデオケーブルとデータケーブルの両方をコンピュータからデバイスに接続する必要があります。ビデオケーブルをコンピュータのビデオポートに接続し、データケーブルを USB ポートに接続します。
4. 接続が完了したら、ケーブルカバーを閉じることができます



3.2.

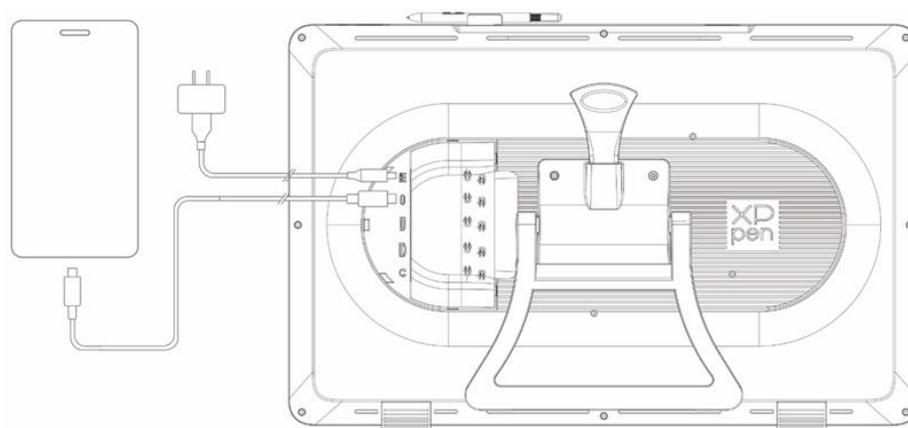


3.3.



4. Android スマホまたはタブレットの接続

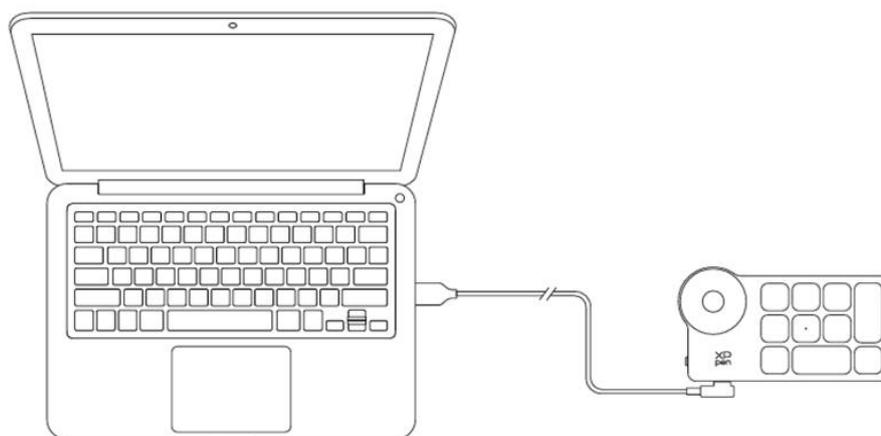
1. 電源ケーブルとアダプターを使用して、デバイスを電源に接続します
2. USB-C to USB-C ケーブルを使用して、Android デバイス*と液晶ペンタブレットを接続します



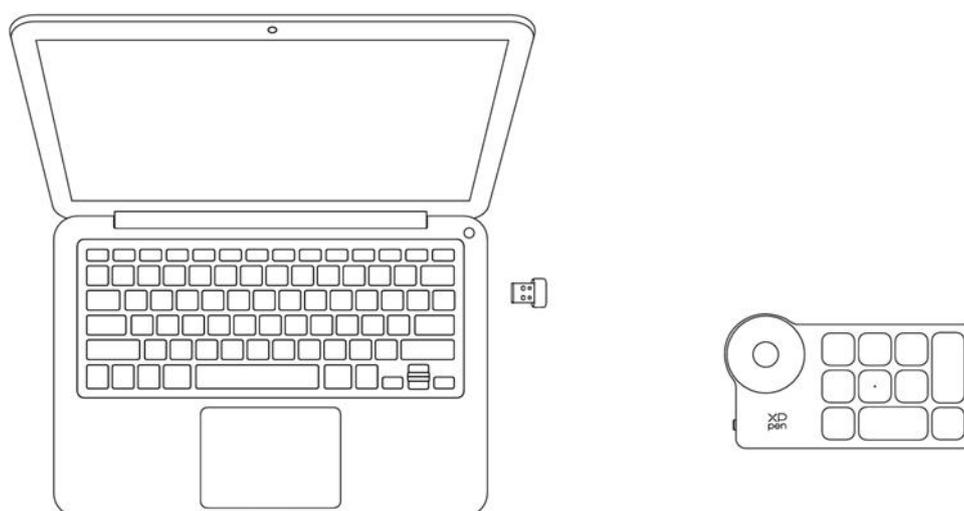
* 対応機種については、XPPen 公式ウェブサイトの情報を参照してください

5. ワイヤレスショートカットリモート

1. 有線接続：USB-C to USB-A または USB-C to USB-C ケーブルを使用して、コンピュータとデバイスを接続します。



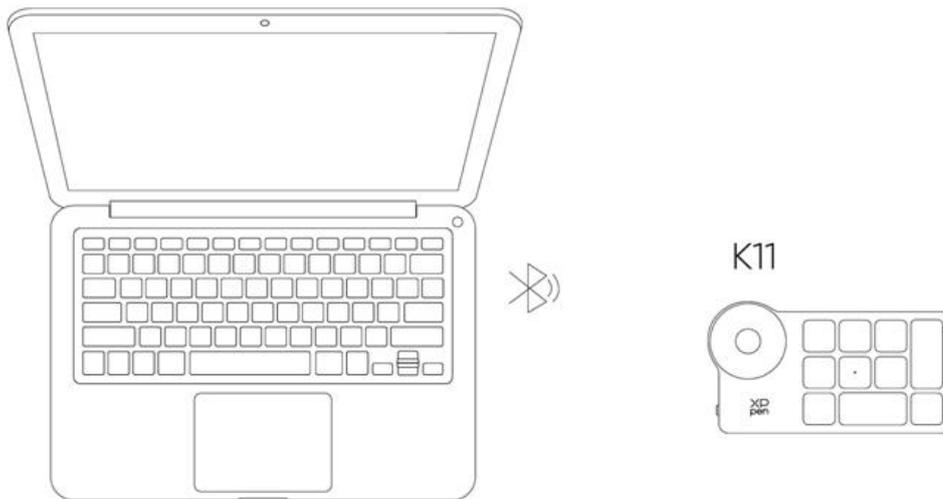
2. ワイヤレスレシーバー接続：ワイヤレスレシーバーをコンピュータに挿入し、ワイヤレスショートカットリモートの電源を入れると、インジケータランプはブルーに常時点灯し、30 秒後に消灯します



3. Bluetooth ワイヤレス接続：

3.1 ワイヤレスショートカットリモートの電源スイッチをオンにすると、インジケータランプがブルーにゆっくりと点滅し、K11 キーを 6 秒間押し続けてペアリングモードに入ると、インジケータライトがブルーにすばやく点滅します

3.2 コンピュータの Bluetooth 機能をオンにして Bluetooth デバイスを追加し、「ショートカットリモート」という名前のデバイスを検索し、クリックして Bluetooth ペアリングを完了すると、インジケータランプがブルーに常時点灯し、30 秒後に消灯します



6. 互換性

液晶ペンタブレット

Windows 7 以降

macOS 10.13 以降

Android 10.0 以降 (USB3.1 DP1.2)

ChromeOS 88 以降

Linux

ショートカットリモート：

Bluetooth レシーバー接続または有線接続：

Windows 7 以降、

macOS 10.12 以降、

Linux。

Bluetooth 接続：

Windows 10 以降、

macOS 10.12 以降。

製品設定

1.ドライバのダウンロード

1. 液晶ペンタブレットが正しくコンピュータに接続されていることを確認してください。
2. XPPen のウェブサイト (www.xp-pen.jp) にアクセスし、サポートセクションのダウンロードをクリックします。製品モデルを選択し、お使いのコンピュータシステムに応じて最新のドライバをダウンロードしてください。
3. 画面の指示に従ってドライバのインストールを完了します。

2.ドライバのインストール

注意：

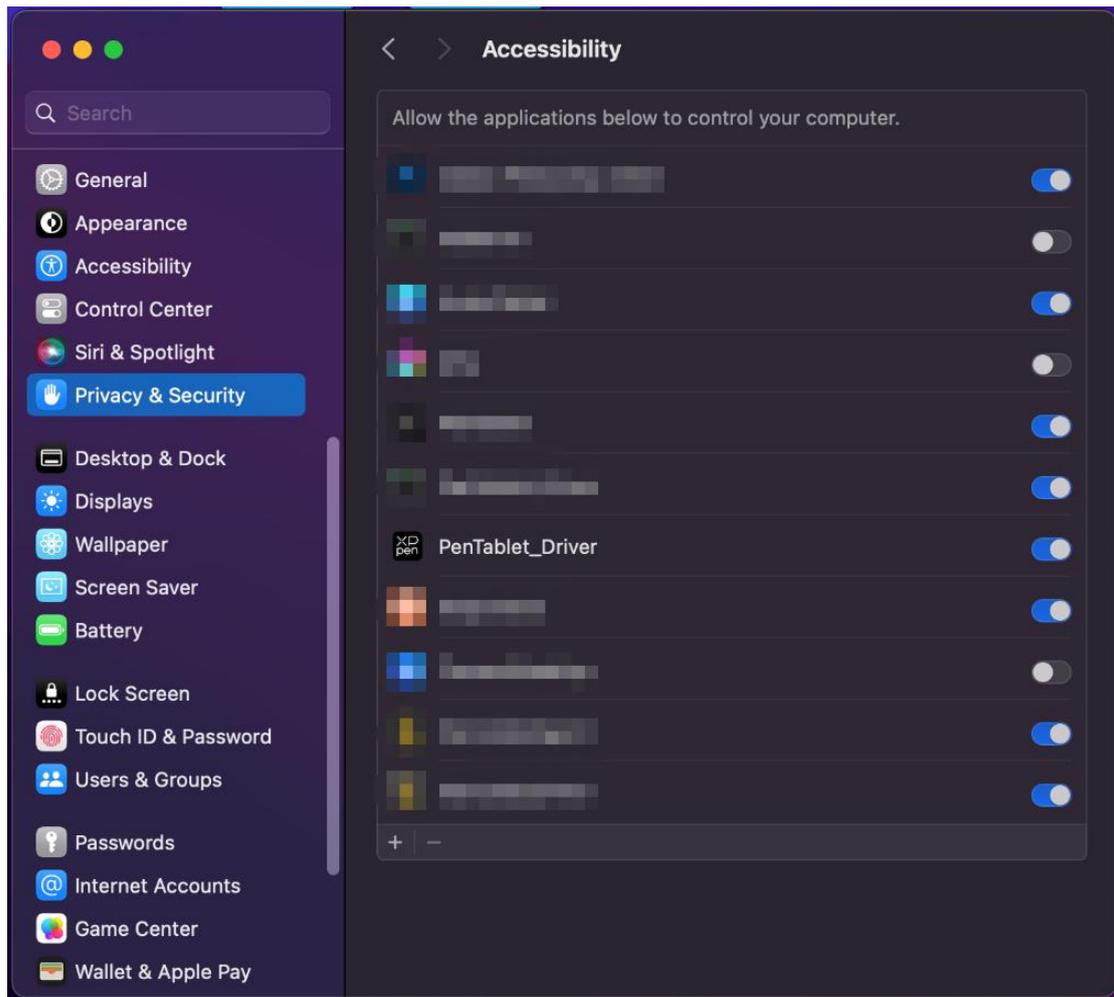
- 1.ドライバをインストールする前に、すべてのウイルス対策ソフトウェアとグラフィックソフトウェアを終了してください。
- 2.インストール前、他のブランドの液晶ペンタブレットのドライバをアンインストールしてください。
- 3.インストール完了後、コンピュータを再起動してください。
- 4.デバイスの性能を最大限に発揮させるために、最新版のドライバをインストールするようお勧めします。

Windows

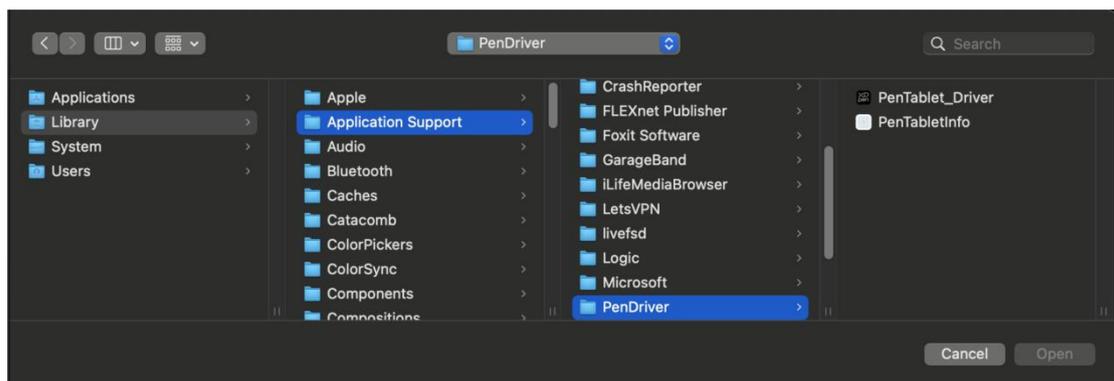
ファイルを解凍します。管理者権限で「exe」ファイルを実行し、画面の指示に従ってインストールを完了します。

macOS

ファイルを解凍して「pkg」ファイルを実行し、画面の指示に従ってインストールを完了します。System Settings -> Privacy & Security -> Accessibilities に移動し、PenTablet_Driver オプションがチェックされていることを確認してください。そうでない場合、デバイスとドライバーが正しく機能しない可能性があります。



リストに PenTablet_Driver がない場合は、resource Library -> Application Support -> PenDriver の順にドライブを手動で追加してください。



Linux

Deb : コマンド「`sudo dpkg -i`」を入力します。インストールファイルをウィンドウにドラッグしてコマンドを実行します。

Rpm : コマンド「`sudo rpm -i`」を入力します。インストールファイルをウィンドウにドラッグしてコマンドを実行します。

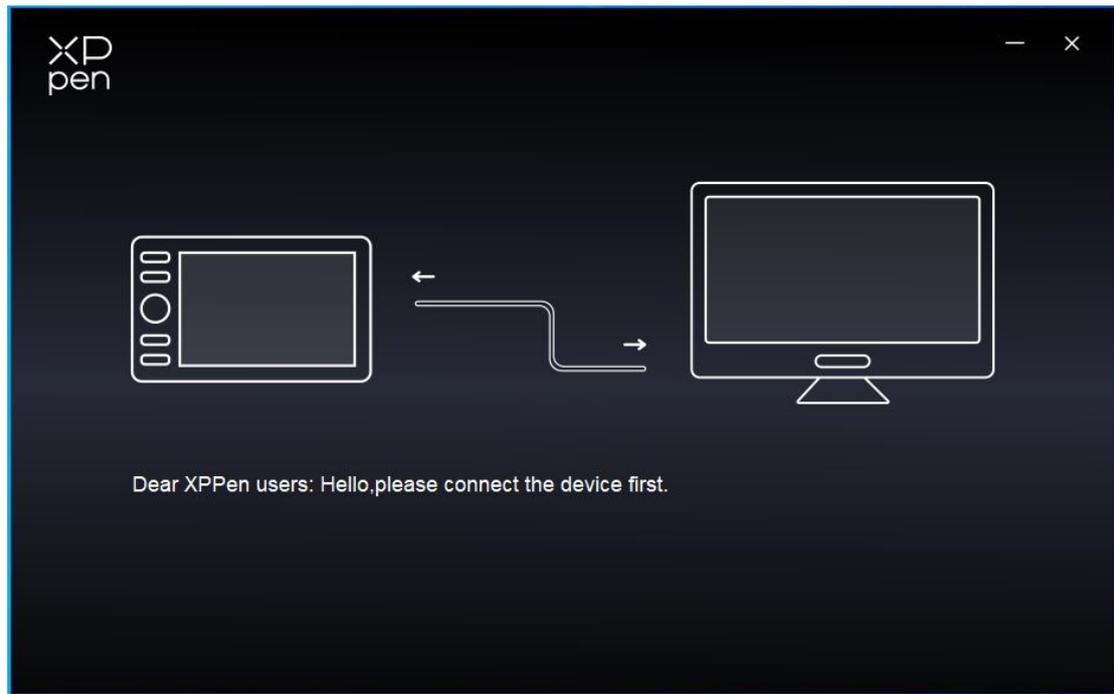
Tag.gz : ファイルを解凍します。コマンド「`sudo`」を入力します。「`install.sh`」をウィンドウにドラッグしてコマンドを実行します。

3.ドライバの機能設定

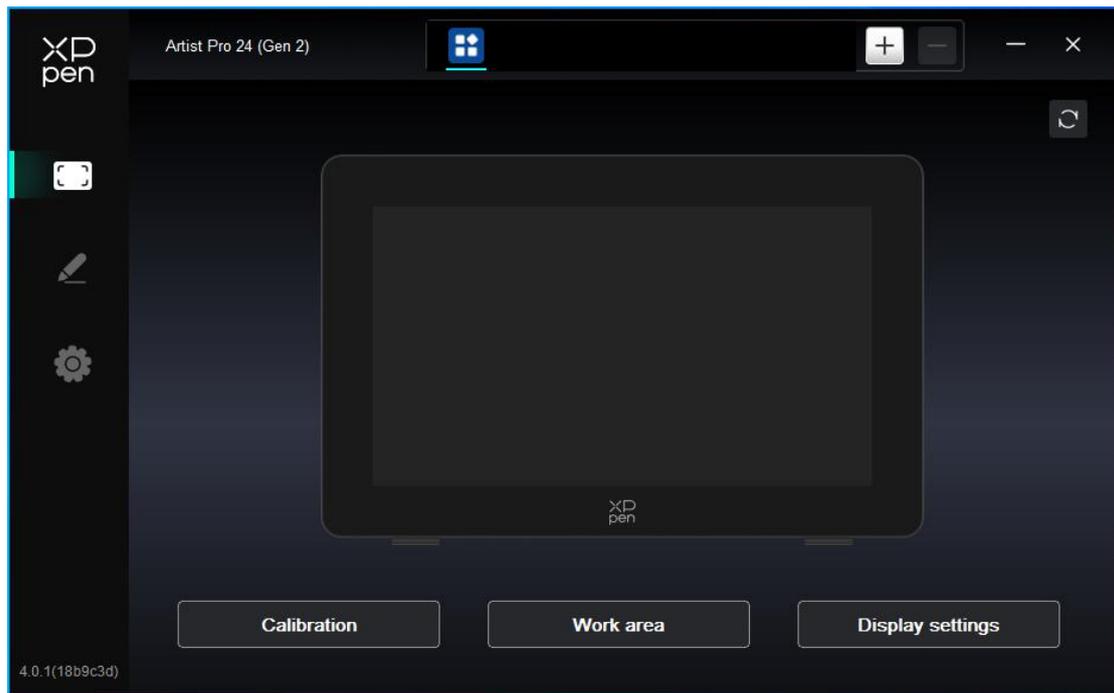
液晶ペンタブレット

デバイスの接続

デバイスが接続されていない場合、またはデバイスが正常に接続されていない場合、以下のメッセージが表示されます。この場合は、コンピュータまたはドライバを再起動してお試しくださいか、カスタマーサポートにお問い合わせください。



デバイスがコンピュータに正常に接続されると、デバイス名がドライバインターフェースの左上隅に表示されます。



ドライバを使用して複数のデバイスを同時に接続できます。特定のデバイスに切り替えた後にそのデバイスの設定をカスタマイズすると、行われたすべての変更はそのデバイスにのみ適用されます。

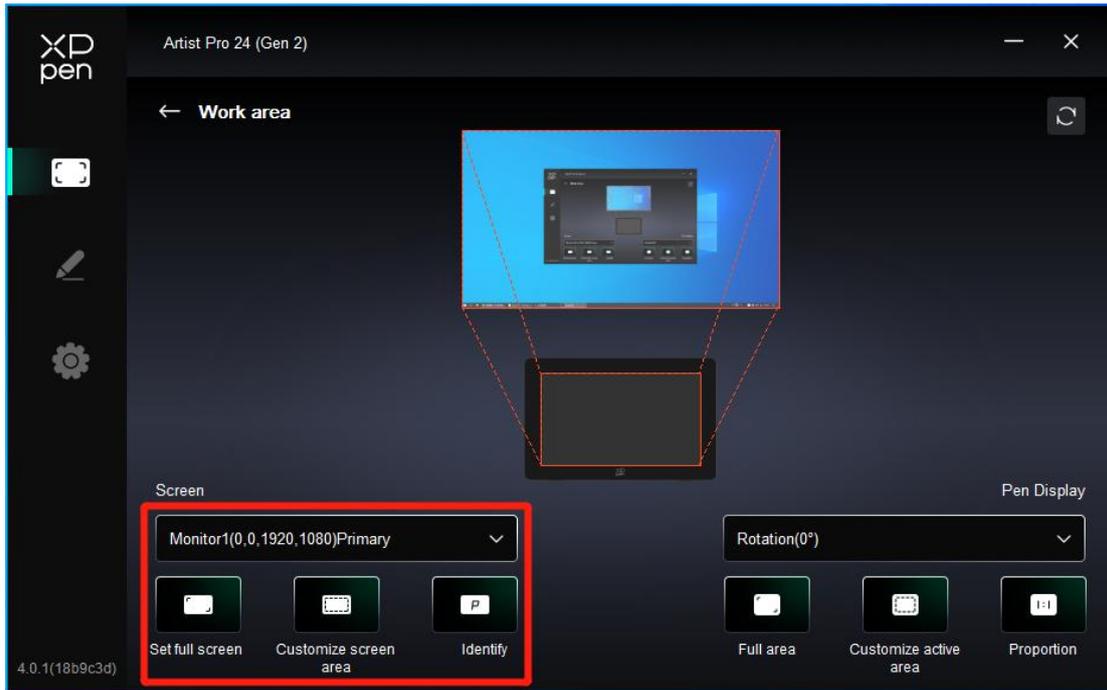
デバイス設定

1) キャリブレーション

スタイラスペンを持ち、モニター上の赤い十字の中心をクリックして、スタイラスとカーソルの間のオフセットを校正します。

2) 作業エリア

デバイスの作業エリアと画面エリアの間のマッピングを設定します。



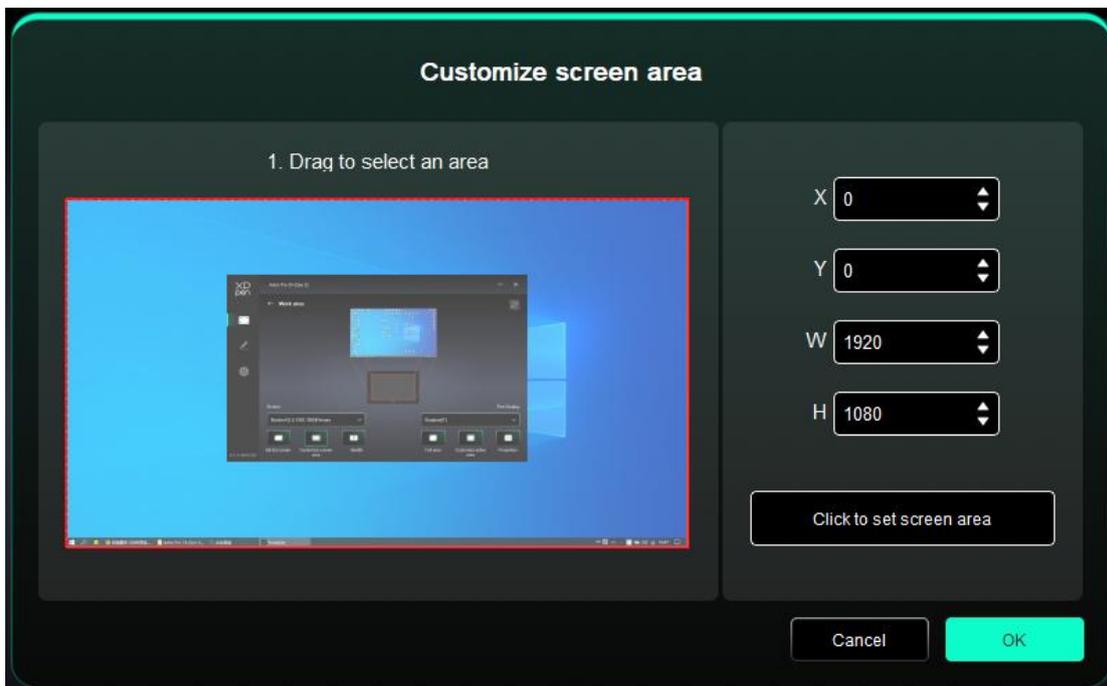
現在のモニターのディスプレイエリアとデバイスとのマッピングを設定できます。

複製モードで複数のモニターを使用している場合は、デバイスの作業エリアはすべてのモニターにマップされます。ペンが作業エリアを移動すると、すべてのモニター上のカーソルが同時に移動します。

拡張モードで複数のモニターを使用している場合は、モニタータブに移動して、デバイスの作業エリアをマップするモニターの1つを選択します。

a. 画面エリア

1. フル画面エリアに設定：選択したモニターのフル画面エリア。
2. 画面エリアのカスタマイズ：



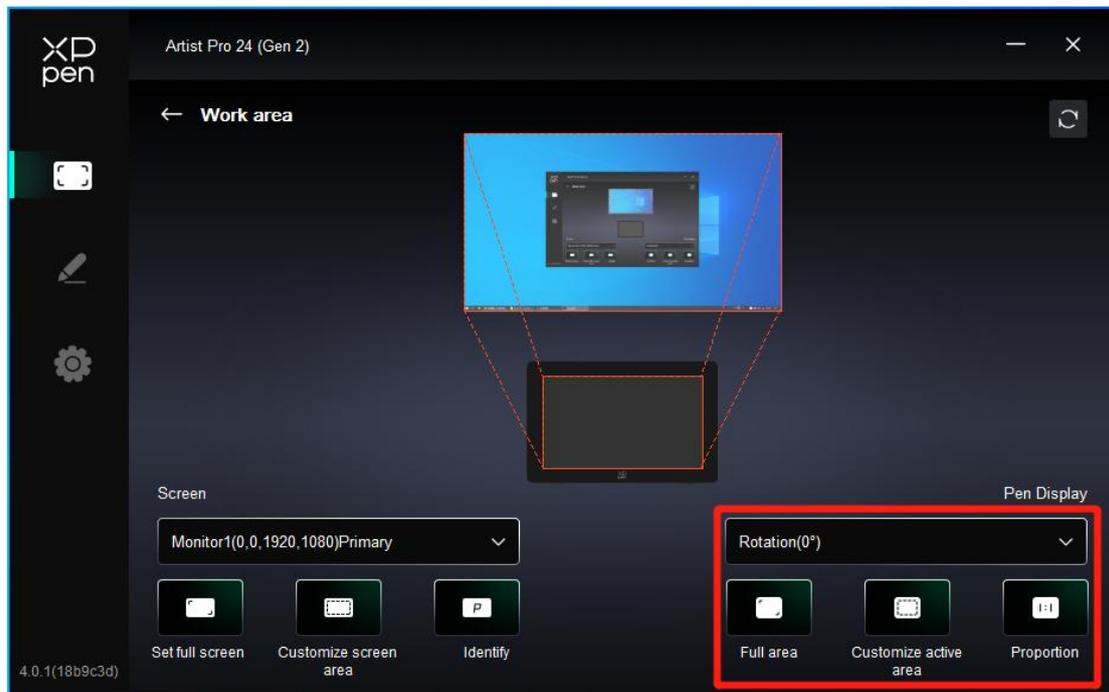
- ドラッグしてエリアを選択：カーソルを画面上のあるポイントから別のポイントにドラッグします。

- 座標：X、Y、W、Hの各入力ボックスに座標を手動で入力します。
- クリックして画面エリアを設定：モニター上で左上隅の位置と右下隅の位置をクリックして選択します。

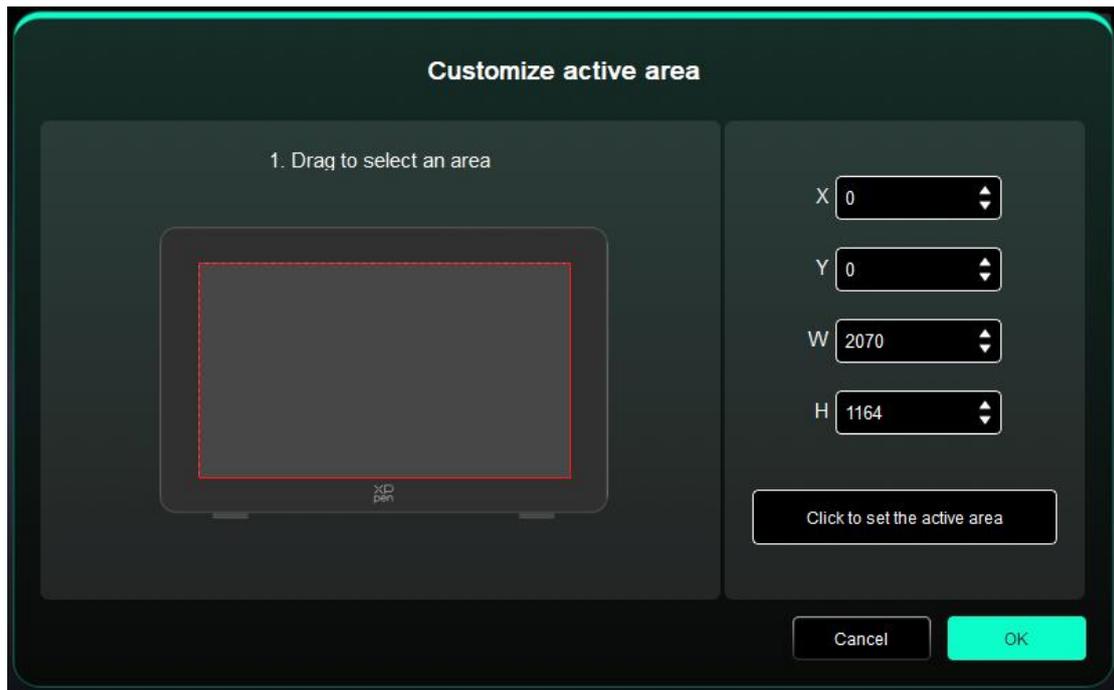
識別：

接続されているすべてのモニターを識別します。各モニターの左下隅に数値識別子が表示されます。

b. ペンタブレット



1. フル作業エリア：デバイスの作業エリア全体が使用可能です。
2. アクティブエリアのカスタマイズ：



- ドラッグしてエリアを選択：カーソルをデバイス上のあるポイントから別のポイントにドラッグします。
- 座標：X、Y、W、Hの各入力ボックスに座標を手動で入力します。
- クリックしてアクティブエリアを設定：デバイス上でスタイラスを使って左上隅の位置と右下隅の位置をクリックして選択します。

3. 縦横比：デバイスの作業エリアと選択したディスプレイエリアを比例的に拡大/縮小します。

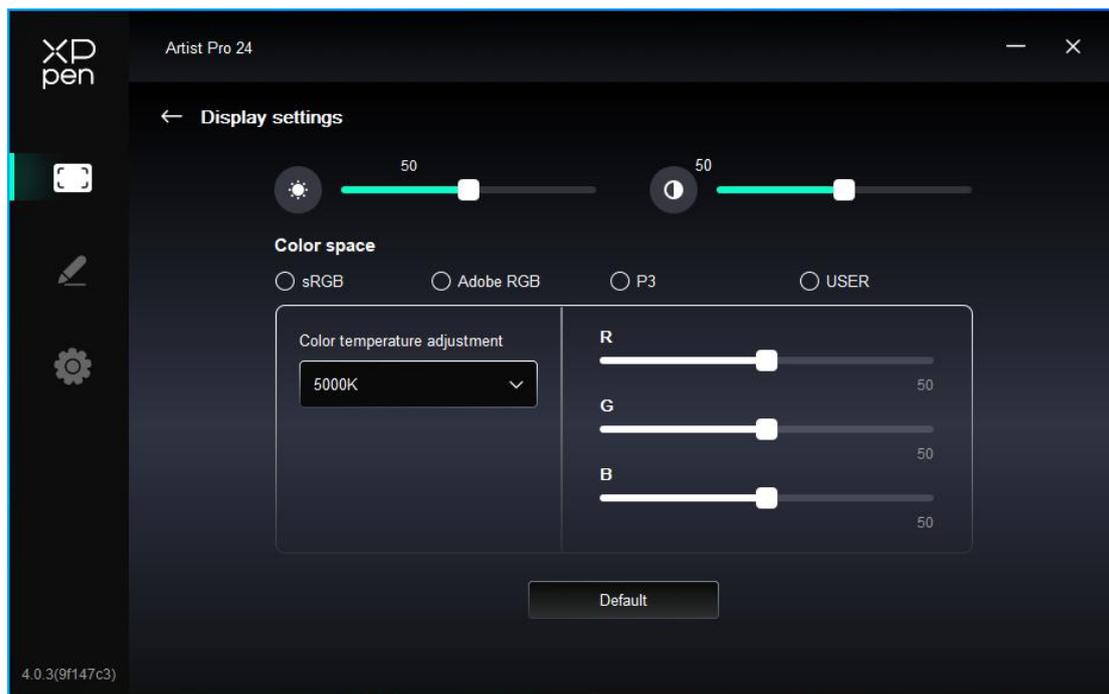
例：比率を選択した後、デバイス上で円を描くと、画面エリアに円が表示されます。ただし、作業エリアの一部が使用できない場合があります。ただし、縦横比を選択せずに円形を描くと、画面上で円形が楕円になる可能性があります。

回転の設定：

デバイスを時計回りに0°、90°、180°、270°に設定して使用できます。

左利きモード：180°回転します。

3) ディスプレイ設定



輝度、コントラスト比：対応するスライダーをスライドさせて、輝度とコントラスト比を調整します。

色空間：USER モードでは、色温度を調整することで色空間をカスタマイズできます（色温度で USER モードを選択すると、R、G、B の値も調整できます）。

この製品には、sRGB、Adobe RGB、および P3 の 3 つのカラーモードがプリセットされています。すべてのモードは正確で厳密な色域制限とキャリブレーションを完了しています。そのため、ICC の制限なしで直接使用できます。

ICC を手動で設定する場合は、ドライバインターフェイスのディスプレイ設定オプションでユーザーモードを選択し、ネイティブカラーで設定してください。

ペンの設定

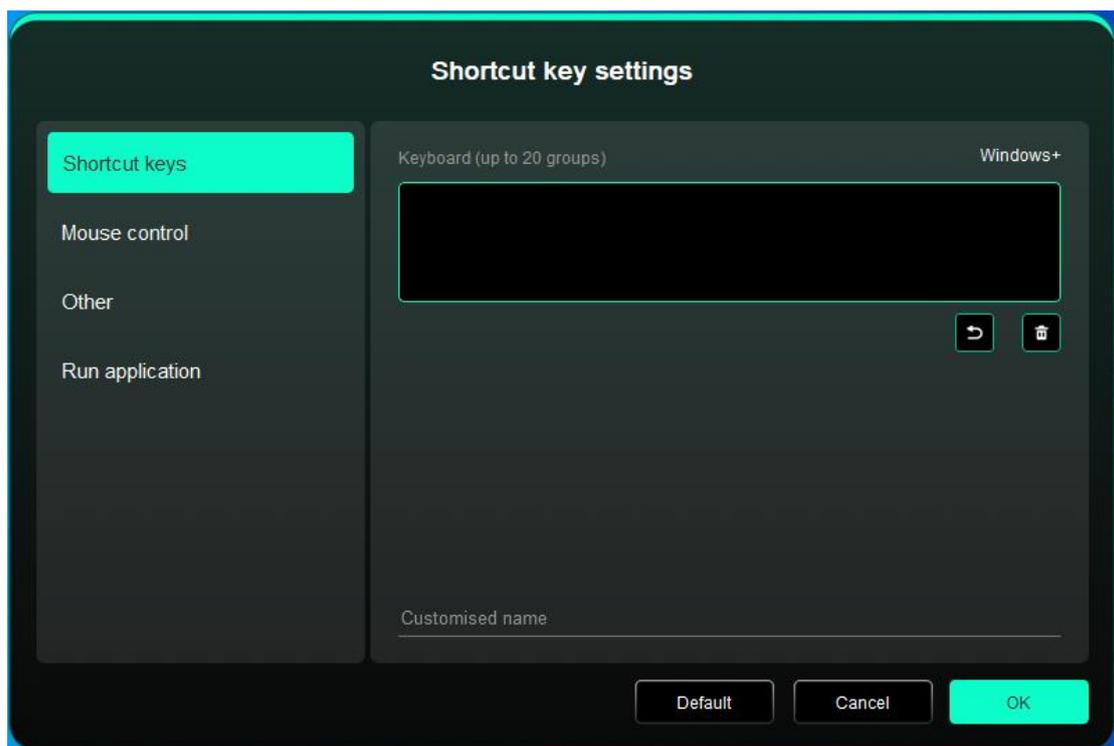
スタイラスが作業エリアにある場合、デバイスはスタイラスを認識してドライバに追加します。スタイラスは、デバイスと互換性がある必要があります。

ペンキー

画像上のペンキーの位置をクリックして、その機能をカスタマイズします。



ショートカットキー：



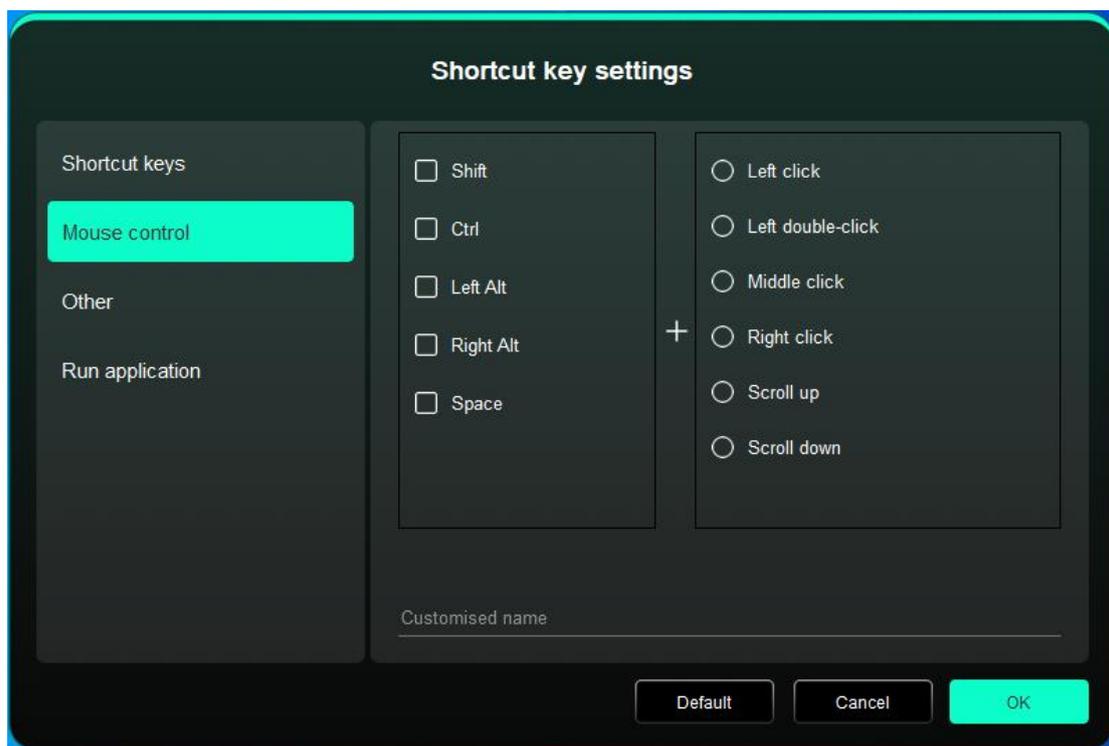
キーボードショートカットを設定できます。たとえば、3D MAX で「Alt+A」に設定すると、位置合わせツールを使用できます。ショートカットキーのグループを複数設定できます。例えば、Ctrl+C、Ctrl+V と入力してキーを押すと、設定された機能がすべて実行されます。

Windows (Command) : システムキーとのキーの組み合わせは追加可能です。例えば、Win (Cmd) +Shift+3 と入力する必要があるとき、Shift+3 を押すとドライバが自動的にシステムキーと一緒に取り込みます。

カスタム名：

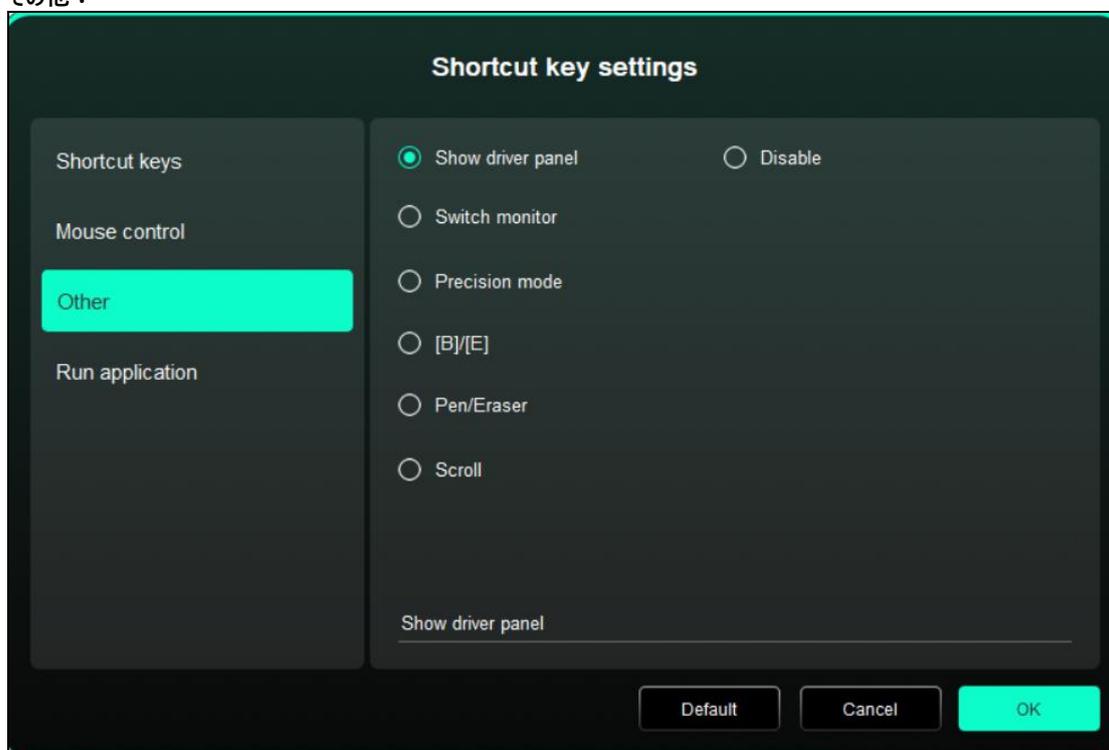
現在の設定の名称をカスタマイズできます。

マウスでコントロール：



マウスとキーボードのキーの組み合わせを設定します。例えば「Shift」と「左クリック」を選択すると、この組み合わせに対応したアプリケーション上の動作が実行されます。

その他：



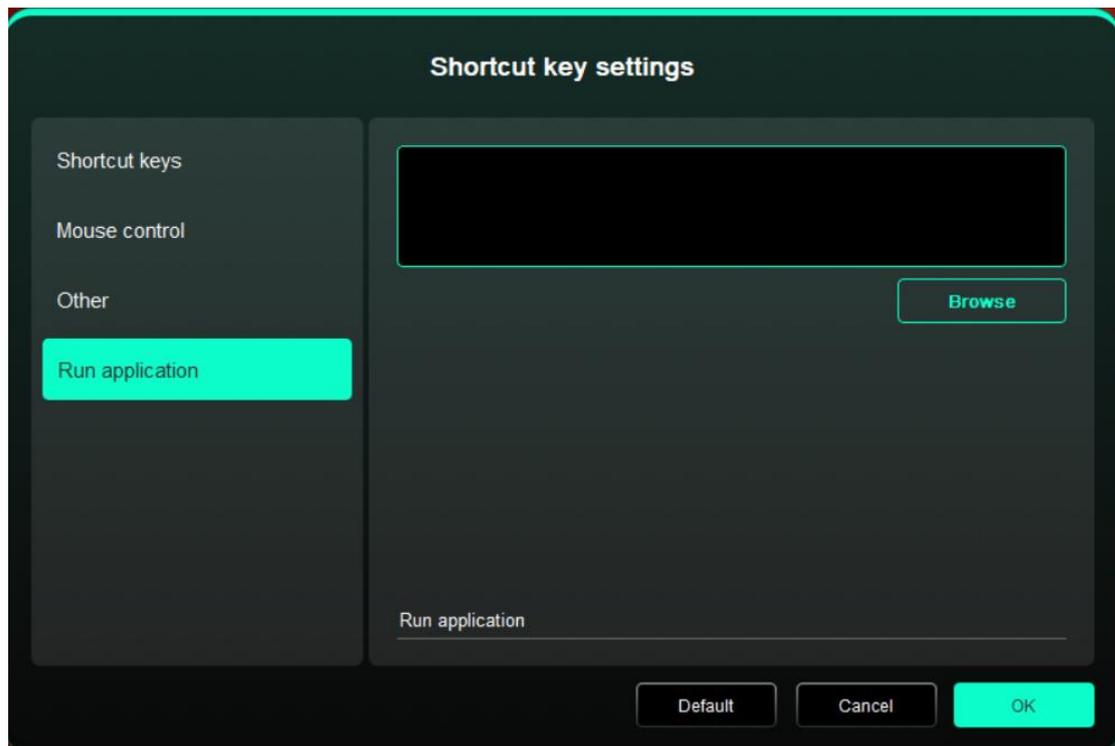
ドライバ画面表示：ドライバ設定パネルをすばやく表示します。

マッピング画面切り替え：複数のディスプレイデバイスがある場合は、カーソルを他のディスプレイデバイスにマップできます。
プレジジョンモード：デバイスの作業エリアを一定範囲に限定します。この機能を使用すると、より詳細な図面を作成できるようになります。

スクロール：対応するボタンを押したままにすると、ペンでスクロールできます。

アプリケーションの実行：

ショートカットキーを使用して、対応するアプリケーションをすばやく起動します



筆圧

筆圧カーブを調整するか、プリセットの筆圧オプションを選択します。



現在の筆圧：

現在の筆圧をテストします。

筆圧：

無効にした場合、スタイラスを使用する際に筆圧ができません。

その他

傾き検知機能：

オフにすると、スタイラスの傾き検知機能が無効になります。

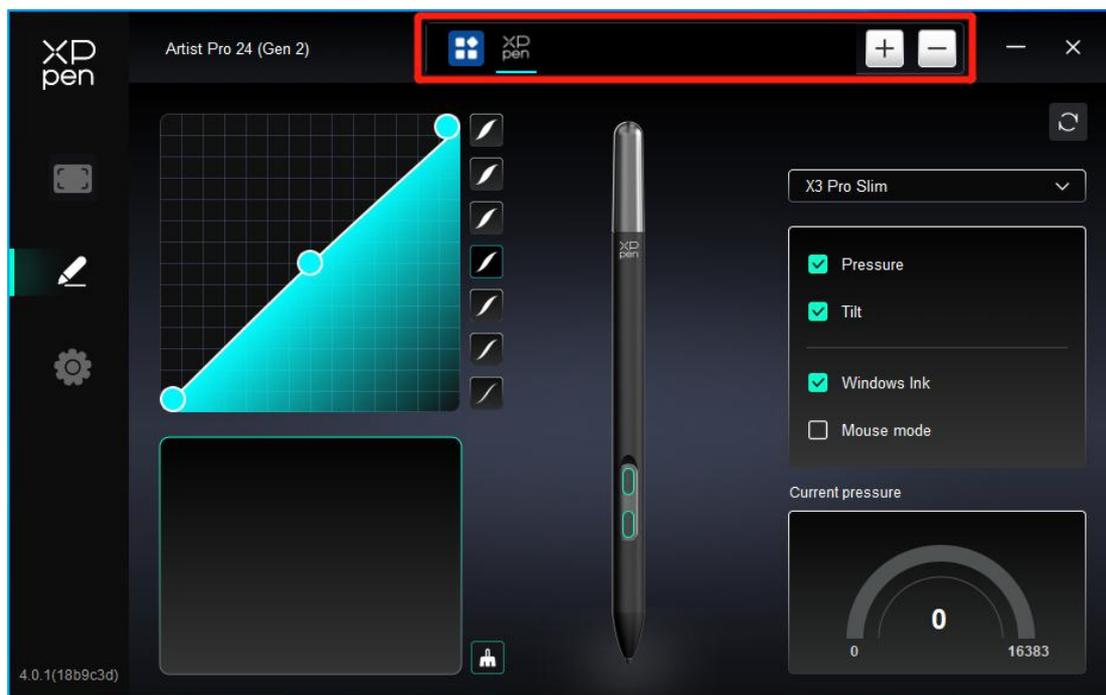
Windows Ink（Windows のみ）：

Windows は手書き機能に対応しています。Microsoft Office/Whiteboard またはその他のソフトウェアでこの機能を使用する必要がある場合は、オフにしないでください。

マウスモード：

ペンを作業エリアの外に移動させると、マウスを操作するのと同じように、カーソルは離れた位置に残ります。選択すると、デバイス上のカーソルの速度を調整できます。選択しない場合は、デフォルトでペンモードが適用されます。

アプリケーション



リストからアプリケーションを追加し、アプリケーションにチェックを入れて、ペンキーの機能をカスタマイズします。

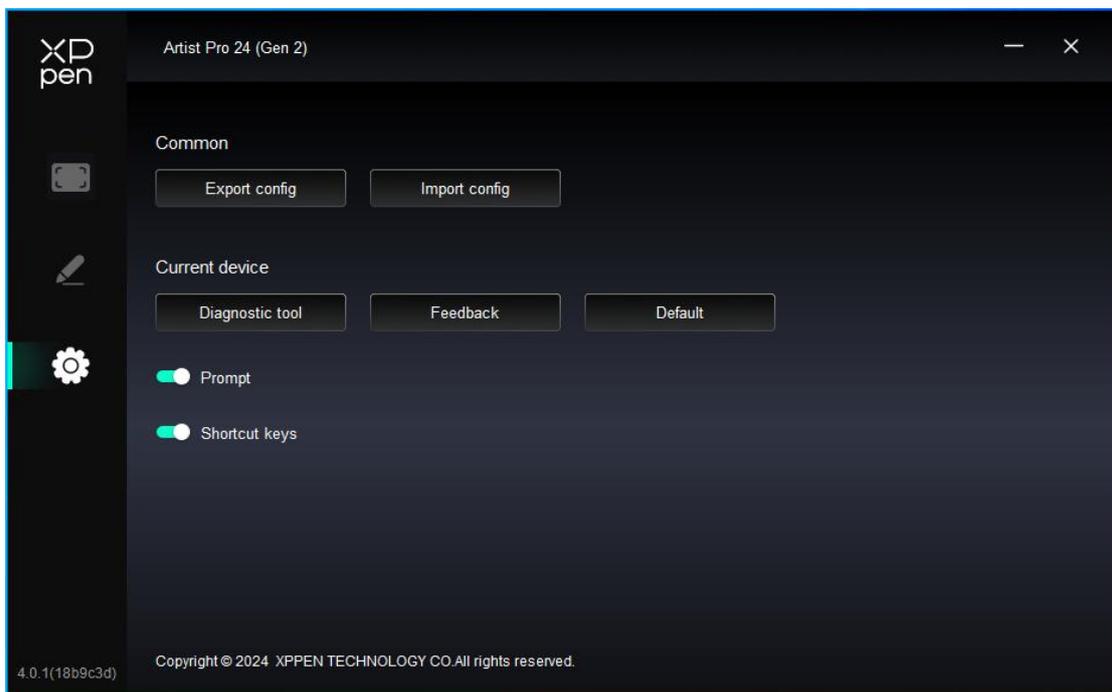
例えば、アプリケーションを選択してその設定を変更した場合、そのアプリケーションが使用されるときにのみ変更が有効になります。アプリケーションを切り替えると、ドライバが自動的に認識します。アプリケーションは最大 7 つまで追加できます。

- 1.アプリケーションバーの右上にある「+」アイコンをクリックして、アプリケーションリストを開きます。
- 2.実行中のアプリケーションから追加するアプリケーションを選択するか、「参照」をクリックしてインストールされたアプリケーションから選択します。
- 3.「OK」をクリックすると、選択したアプリケーションが追加されます。
- 4.追加したアプリケーションを選択し、アプリケーションバーの右上にある「-」アイコンをクリックしてアプリケーションを削除します。

他のアプリケーションをすべて選択すると、他のカスタマイズされていないアプリケーションにも適用されます。



ドライバ設定



設定のインポート・エクスポート：

設定をインポート・エクスポートして、設定を保存したり読み取ったりすることができます。

この機能は、同じオペレーティングシステムでのみ使用できます。

診断ツール：

ドライバの使用中に問題が発生した場合は、診断ツールを使用できます。

フィードバック：

ドライバの使用中去質問やご意見がございましたら、このページからフィードバックをお寄せください。

ショートカットキー：

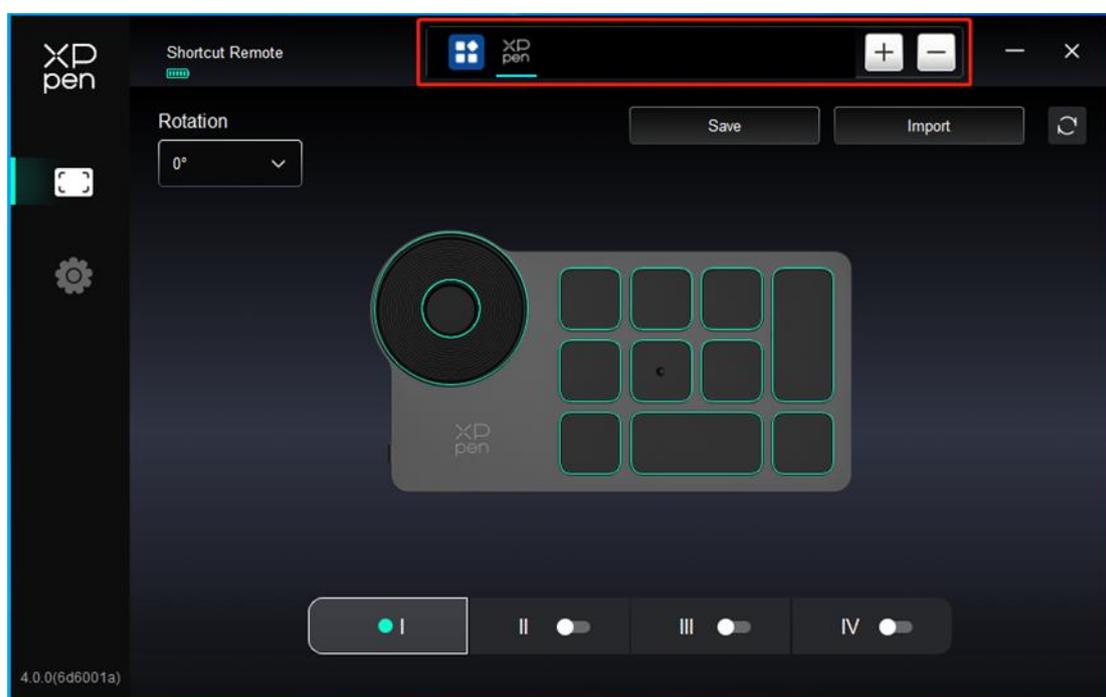
無効にした場合、デバイスのすべてのキーの機能は無効になります。

プロンプト：

無効にした場合、キーを押しても、下部にキープロンプトは表示されません

ワイヤレスショートカットリモート

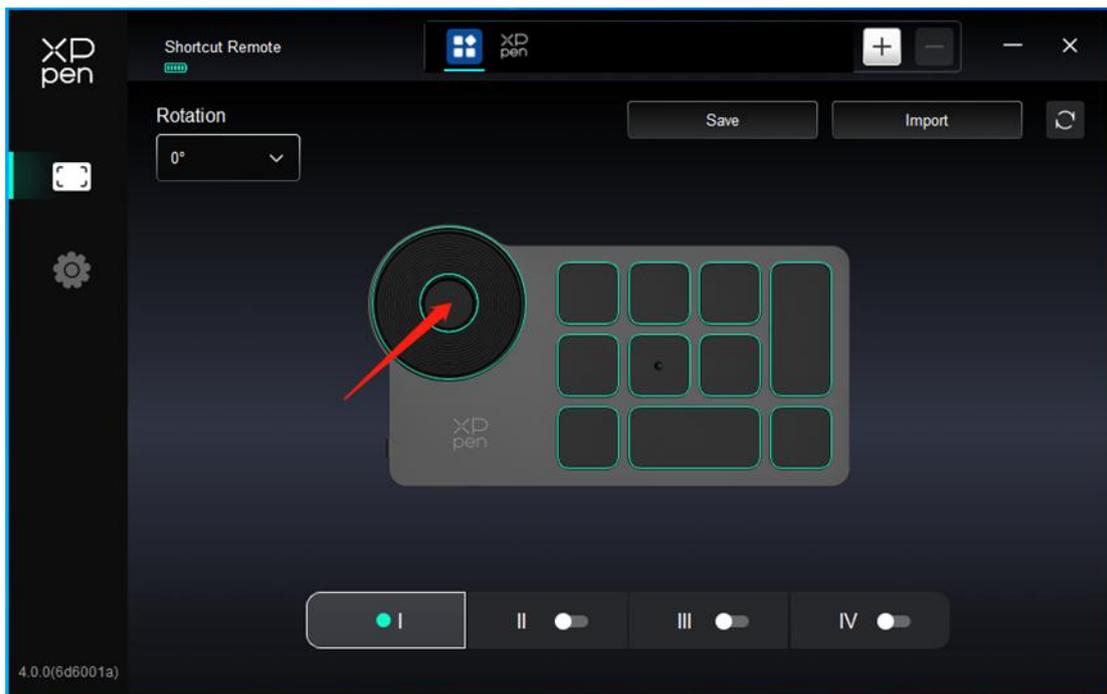
アプリケーション



設定や使用方法については、前述の「ペンの設定-ショートカットキー」を参照してください。

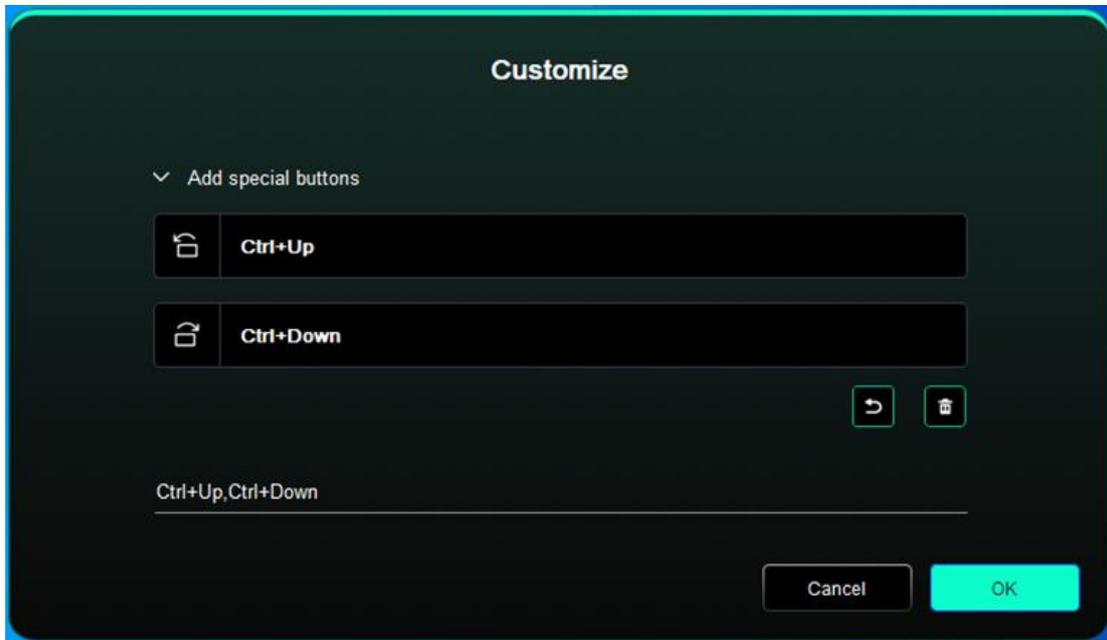
ローラーホイール

ローラーホイールの中央のキーで、ローラーホイールの機能グループを切り替えます。

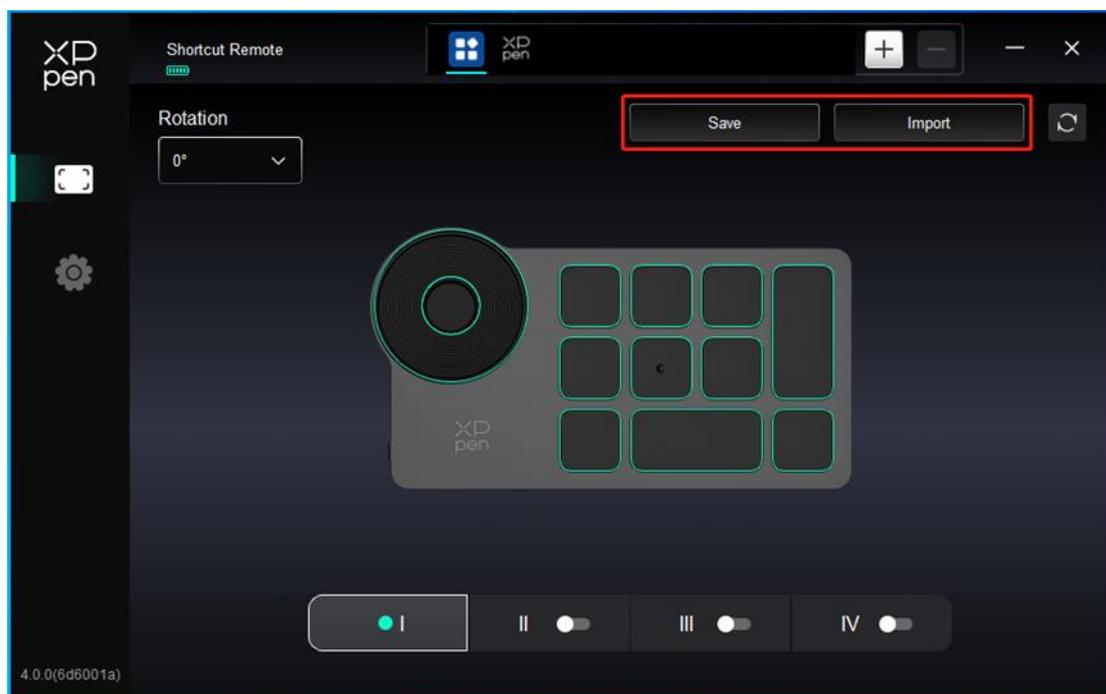


カスタマイズ：

画像上のローラーホイールの位置をクリックし、プリセット機能ドロップダウンメニューから「カスタマイズ」を選択し、キーボード上で希望するキーまたはキーの組み合わせを入力して、ローラーホイールの時計回りと反時計回りの機能をカスタマイズします。



インポート・保存



保存：

現在選択しているアプリケーションの設定をデバイスに保存します。

インポート：

デバイスに保存されている設定を、選択したアプリケーションのドライバ上にインポートします。

注意：「インポート」「保存」機能は有線接続で使用してください。「インポート」「保存」設定には回転機能は含まれず、同一システムでのみ有効です。

ショートカットキー

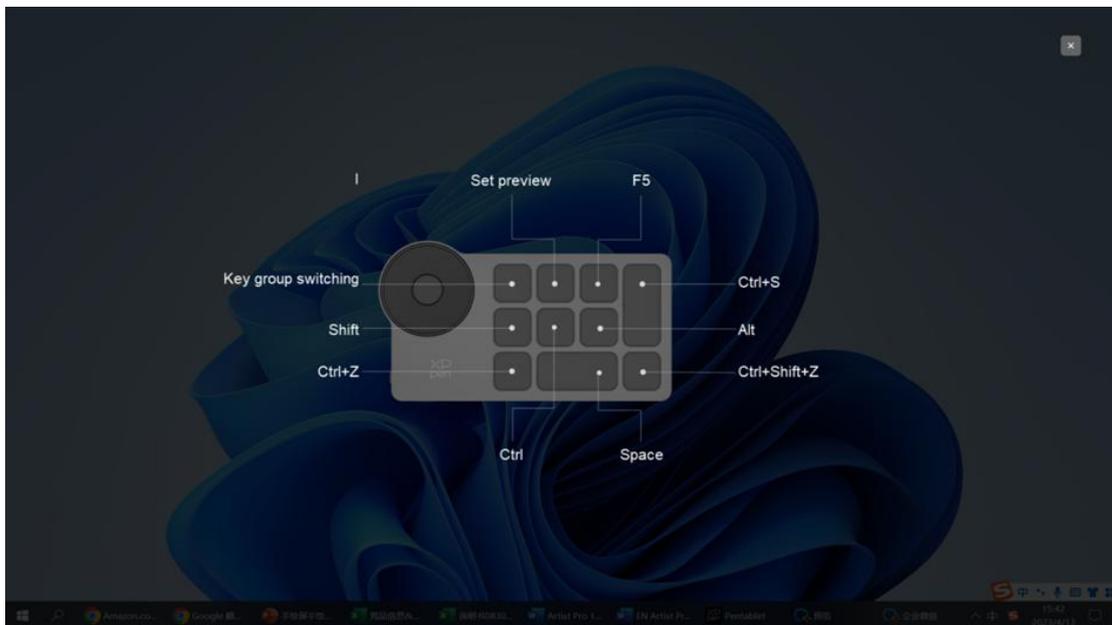
ドライバには4グループまでショートカットキーを設定できます。ショートカットキーの第1グループは、デフォルトで使用されます（無効にすることはできません）。キーグループごとに異なる機能をカスタマイズできます。有効にした後、「キーグループスイッチ」で「I/II/III/IV」の有効にしたグループに切り替えられます（デフォルトはK1キーで切り替え、他のキーにカスタマイズできます）。



カスタマイズ：

デバイスの画像上で対応するボタンの位置をクリックして、その機能をカスタマイズします。設定や使用方法については、前述のテキストを参照してください。

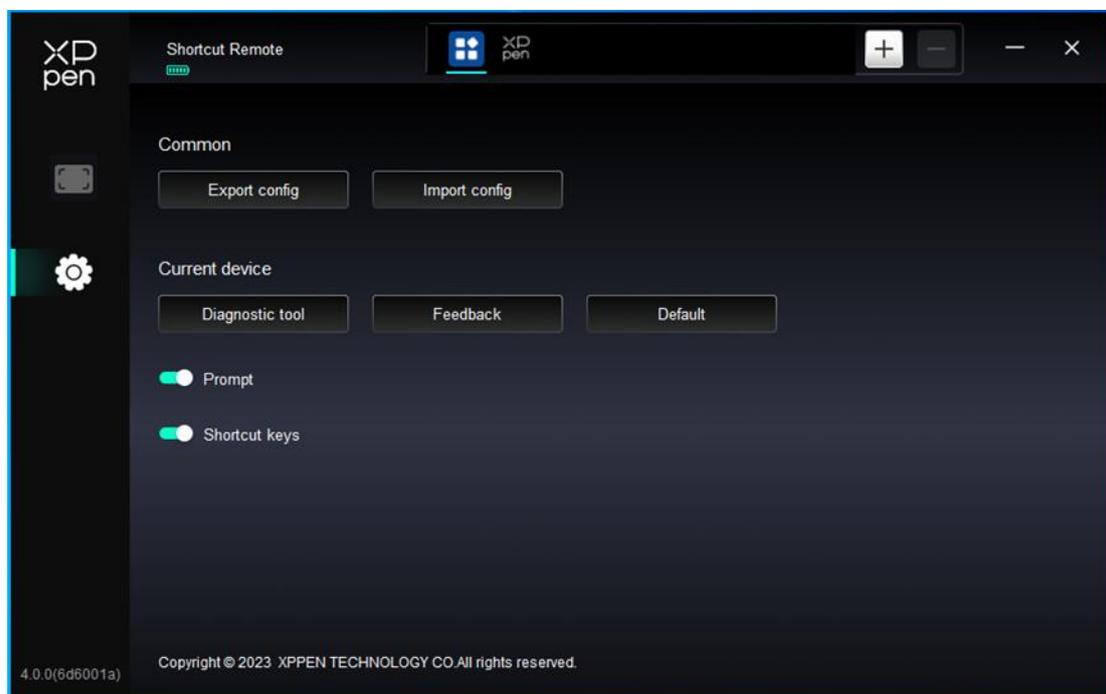
プレビューの設定



使用中のキーグループ機能を表示し、ドライバで有効になっていないキーグループを選択すると、デフォルトでグループ I が使

用されます。右上の閉じるボタンをクリックし、ウィンドウを閉じます。

ドライバ設定



設定のインポート・エクスポート：

設定をインポート・エクスポートして、設定を保存したり読み取ったりすることができます。

この機能は、同じオペレーティングシステムでのみ使用できます。

診断ツール：

ドライバの使用中に問題が発生した場合は、診断ツールを使用できます。

プロンプト：

無効にした場合、キーを押しても、画面の下部にキープロンプトは表示されません。

ショートカットキー：

無効にした場合、デバイスのすべてのキーの機能は無効になります。

4.ドライバのアンインストール

Windows

Start -> Settings -> Apps -> Apps & Features に移動し、「Pentablet」を選択し、画面の指示に従って「Unload」を左クリックします。

Deb : 「sudo dpkg -r XPPenLinux」を入力し、コマンドを実行します。

Rpm : 「sudo rpm -e XPPenLinux」を入力し、コマンドを実行します。

Tag.gz : ファイルを解凍します。コマンド「sudo」を入力します。「uninstall.sh」をウィンドウにドラッグしてコマンドを実行します。

よくある質問

1. 液晶ペンタブレットに何も表示されないか、黒い画面が表示される。
 - 1) デバイスが電源に正しく接続されていることをご確認ください。
 - 2) ケーブルが正しく接続されていることをご確認ください。
 - 3) 電源インジケータがブルーになっていることをご確認ください。そうでない場合は、ケーブルをチェックしてデバイスを再起動してください。
 - 4) 信号が不安定な場合は、ケーブルポートが安定していることをご確認ください。
2. コンピュータでデバイスが認識されない。
 - 1) コンピュータで使用している USB ポートが機能していることをご確認ください。正常に機能していない場合は、別の USB ポートを使用してください
3. 液晶ペンタブレットは 3840*2160 60Hz または 2560*1440 165Hz に対応できない
 - 1) ホスト PC のグラフィックスカードとポートが 3840*2160 60Hz または 2560*1440 165Hz をサポートできることをご確認ください。
 - 2) HDMI ポートを使用する場合、製品は最大 2560*1440 144Hz をサポートします。
4. スタイラスが動作しない。
 - 1) デバイスに付属していたスタイラスを使用していることをご確認ください。
 - 2) ドライバが正しくインストールされており、ドライバのペンの設定が正常であることをご確認ください。
5. カーソルを動かすことができるが、描画ソフトは筆圧を感知できない。
 - 1) 描画ソフトが筆圧に対応していることをご確認ください。
 - 2) XPPen のウェブサイトから最新のドライバインストールファイルをダウンロードして、ドライバの筆圧が正常かどうかをご確認ください。
 - 3) ドライバをインストールする前、ウイルス対策ソフトウェアとグラフィックソフトウェアを終了してください。
 - 4) インストールの前、他ブランドの液晶ペンタブレットのドライバをアンインストールしてください。
 - 5) インストール完了後、コンピュータを再起動してください。
 - 6) ドライバの筆圧が正常な場合は（Windows：ドライバのペンの設定で Windows Ink が有効になっていることを確認）、描画ソフトを実行してもう一度テストしてください。

6. カーソルオフセット。
 - 1) ドライバでペンを校正してください。
7. ソフトを使用して描画するときの線の遅延。
 - 1) コンピュータの設定（CPU と GPU）が、インストールされている描画ソフトの推奨設定要件を満たしていることを確認し、描画ソフトの公式サイトに掲載されている「よくある質問」を参照し、関連機能を設定して最適化してください。



HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMI trade dress、HDMI Logos という用語は、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

ワイヤレスショートカットリモートに関して

適合宣言書 [Hanvon Ugee Technology Co.,Ltd.]は、無線機器の型式[ACK05-B]が指令 2014/53/EU に適合していることをここに宣言します。EU 適合宣言書の全文は、以下のインターネットアドレスでご覧いただけます：
www.xp-pen.com/

このデバイスは、FCC 規則のパート 15 に準拠しています。動作には、次の 2 つの条件が適用されます：（1）このデバイスは有害な干渉を引き起こす可能性はなく、かつ（2）このデバイスは、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む、すべての干渉を受け入れる必要があります。

警告：コンプライアンスの責任を負う当事者によって明示的に承認されていない変更または修正を行うと、機器を操作するユーザーの権限が無効になる可能性があります。

FCC 注：この機器はテストされ、FCC 規則のパート 15 に従ってクラス B デジタルデバイスの制限に準拠していることが確認されています。これらの制限は、住宅設備における有害な干渉に対する合理的な保護を提供するように設計されています。この機器は無線周波数エネルギーを生成、使用、および放射する可能性があるため、指示に従って設置および使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置環境で干渉が発生しないという保証はありません。この機器がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合（装置の電源をオフ/オンにすることで判断できます）、ユーザーは以下のうち 1 つまたは複数の方法によって干渉を修正することをお勧めします：

—受信アンテナの向きを変えるか、位置を変更します。—機器と受信機との距離を伸ばします。

—受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに機器を接続します。

—販売店または経験豊富なラジオ/テレビの技術者に相談します。

RF 警告ステートメント：

このデバイスは一般的な RF 被曝要件に適合していると評価されています。このデバイスはポータブル撮影時の被曝条件下でも制限なしに使用することが可能です。

動作周波数：2402～2480MHz

最大出力：3.3dbm

動作温度：0～45°C

メーカー：Hanvon Ugee Technology Co.,Ltd.

所在地：中国広東省深セン市竜華区大浪街道浪口社区華興路富隆特工業園 4 棟 2 階、3 階西側、4 階